

2023年度 福井県バレーボール協会 強化方針

強化委員会

1. 鹿児島特別国体に向けた強化

①少年の部

目 標
強化内容

ベスト4

高校総体兼国体予選会優勝チームを中心に、強化に取り組む。全国トップの高校やVリーグチームとの強化合宿・試合を積極的にこなし、心技体にわたり効果的な強化活動を展開する。

②成年の部

目 標
強化内容

北信越国体突破

国体予選会を開催し、県選抜チームを編成する。併せてふるさと選手を加えて強化に取り組む。県外国体チームやVリーグチームとの強化合宿・試合を積極的にこなし、全国大会での結果を積み上げる。

③ビーチの部

目 標
強化内容

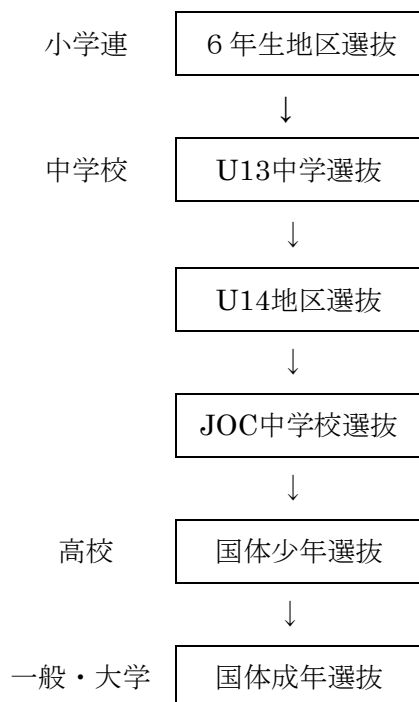
ベスト4

国体予選会優勝チームを県代表チームとして、強化に取り組む。オーイング選手の指導を仰ぎながら強化合宿・試合を積極的にこなし、全国大会での結果を積み上げる。

④選手強化本部にスーパーアドバイザーを配置

荻野正二氏(継続) サントリーサンバーズ所属
藤田幸光氏(継続) 京都橘大学女子バレーボール部監督
村上めぐみ氏(継続) 元全日本選手 株式会社立飛ホールディングス
幅口絵里香氏(継続)
道木優輝氏(継続) DG2GYM所属

2. 福井型指導者・競技者育成一貫システム



小学連の6年生地区選抜(平成22年度より)、中学校のU13・地区選抜・JOC中学選抜、高校の国体少年選抜、一般の国体成年選抜と縦の連携を深め、連盟間の親密なつながりのもと強化・育成を推し進め、トップアスリートと指導者を育成していく。

ビーチバレーにおいては、トッププレーヤーを中心に全国の情勢をにらみながら、小浜を中心に小・中・高への普及を進め、全国に先駆けた体制作りに取り組む。

2023 年度ビーチバレーボール競技（少年種別）強化計画

1. 競技力向上に向けた環境整備

「ふくいビーチバレーボールクラブ」練習会を年間通して実施する。

嶺南のチームは若狭鯉川シーサイドパーク及び若狭東高校ビーチバレーボールコート、嶺北のチームは三国サンセットビーチを活動拠点とし、継続した指導が受けられる環境を整える。

5月の予選会後は、上位入賞チーム・選手を第2期強化指定選手とし、若狭鯉川での強化合宿及び遠征を通して本県チームを全国トップレベルに引き上げる。

2. 福井しあわせ元気国体会場の有効活用

30年福井国体会場地の若狭鯉川シーサイドパーク特設コートで、各種大会や予選会を実施するなど、強化拠点として有効に活用する。

3. ジュニア世代の有望選手の発掘、育成、強化

中学生・高校1年生の年齢層を中心とした練習生を募集する。そのため、県高体連・県内各中・高校顧問、クラブチーム等の協力を得て、県内トップレベル選手、それに準じる選手を育成し、競技レベルの底上げを図る。また、強化指定選手と競わせながらジュニア世代の将来性豊かな有望選手の発掘・育成・強化に一体的に取り組む。

また、年間を通して小・中・高校生を対象とした体験会を開催する。連盟ホームページをより充実させ、募集について県内に幅広く情報発信する。

本県ゆかりのトップアスリートを招へいし、その魅力にふれ合うことでビーチバレーボール競技の興味・関心を一層高める。また、小浜会場・三国会場でビーチバレーボール競技ができる環境が「身近にある」ことを周知する。

4. スーパーアドバイザーによる本県チームへのプラス効果

長年にわたり第一線で活躍してきた本県選手から、プレーする姿勢や取り組み方を間近に触れることにより、選手がその技術や知識を学ぶことができ、国体や全国大会に向けて強化及び有力な選手の発掘や育成を行う上で、より詳細な適正評価を受ける機会とする。

さらに国内の最新情報の収集や効果的な練習方法、疲労の取り方、調整の仕方などについて自らの経験を選手に伝え、選手のコンディションや心理面を向上させるなどアドバイスを提供するきめ細かなサポートを構築していく。なお、選手だけでなく、県内の指導者を対象に指導方法を学び、スキルアップできる機会とする。